

滋賀

GPN



滋賀GPNキャラクター エコペン

News

第33号 2018年3月
滋賀グリーン購入ネットワーク
ニュース



～滋賀から「グリーン経済」をつくる～

特集 会員のパートナーシップで広げる 様々なエコ活動 グリーン購入 創エネ・省エネ 食品ロス削減

2017年12月9日(土)「三方よしエコフェア2017」開催

食べてよし! 買ってよし! 遊んでよし! 買い物や遊びを通してエコを学べる「三方よしエコフェア」。5回目の開催となる今年は36ブースが出展し、たくさんの親子連れで賑わいました。

例年にはなかった、
様々な見どころが!

「おいしがうれしが」は、「地産地消」を進める、滋賀県のキャンペーンです。この「おいしがうれしが」を、英語で言うとしたら、次のどれでしょうか?



草津市国際交流協会の皆さん

こんな設問が次々と英語で出題された**草津市国際交流協会の「英語でエコ・クイズ!」**。草津市在住の外国人留学生たちがボランティアで先生役を務めてくれました。ネイティブ・イングリッシュでクイズが出題、解説されることから、子どもたちだけでなく保護者の方にも大好評でスタッフの休憩時間が無くなるほどの賑わいでした。

省エネ・創エネ関連のグッズ販売や体験ブースを集めた**「エネルギー体験ひろば」**では、小型ソーラーを用いた工作教室が子どもたちに大人気! 開場前から会場入り口に子どもたちの列ができました。**夏原工業株式会社**による「ソーラーランプ工作教室」は午前中のうちに予定数が終了となる人気ぶり、参加者から「子どもがお絵描きを自由にさせてもらい、ランプが作れて喜んでいました。夜が楽しみです。」等の感想が聞かれました。他にも、**日本エコ照明株式会社**ブースでは自転車発電でエネルギーの大切さを学べたり、**大阪ガス株式会社滋賀事業所**ブースでは液体窒素を使った不思議な冷熱実験を見られたりと、エネルギーにまつわる楽しい体験ブースが並び、あちらこちらで子どもたちの歓声が挙がっていました。

また、ステージでは、午前中は環境パフォーマー**らんま先生の「エコ体験マジック・ショー」**、午後には**三方よし小学校「子どもエコ座談会」**を開催しました。「子どもエコ座談会」は今回が初の開催です。県内の小学校に通う5～6年生9人が生徒役としてステージに上がり、「食品ロス削減」をテーマに熱心に議論してくれました。(※詳細はP2～3参照)

※当日の様子が、動画で紹介されています。
ぜひご覧ください。
しがエネルギームーブメント! Vol.11
三方よしエコフェア
～遊んで学ぶエネルギー体験～



「三方よしエコフェア2017」オープニングセレモニー

INDEX



- 特集 会員のパートナーシップで広げる 様々なエコ活動
グリーン購入 創エネ・省エネ 食品ロス削減
..... 1・2・3
- Report1 グリーン購入フォーラム2017 in 滋賀 .. 4
- Report2 びわ湖環境ビジネスメッセ2017
「第20回記念公式エコバッグ」事業 .. 4
- Report3 会員連携で企画・運営する研究会活動 .. 5

- Report4 会員講師派遣事業 5
- 滋賀GPN会員でつなぐリレートーク
油藤商事株式会社 6
- お知らせ 第3回「買うエコ大賞」間もなく募集開始! .. 6
- 新規会員からひとこと 7
- 会員発エコ商品情報 8
- 編集後記 8

三方よしエコフェア2017



食べてよし!

買ってよし!

遊んでよし!

●日時：2017年12月9日(土) 10時30分～15時

●会場：ピアザ淡海 3階 大会議室 (大津市におの浜1-1-20)

●主催：滋賀GPN ●後援：滋賀県、大津市、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会

いろんなエコが大集合!

出展ブースの一例
をご紹介します。



段ボールコンポストの
説明
日本食品リサイクルネットワーク



地産地消と
食品ロスについて説明
食のグリーン購入研究会



ひょうたんを使った
工作教室
かみおかベ古民家活用計画



「エシカルすごろく」に挑戦!
滋賀県県民活動生活課



カレーライスも大人気
ちっち&みっきー



これぞ近江牛弁当!
千成亭



びわ湖のヨシ文具販売
コクヨ工業滋賀



県産間伐材製
「グリーン購入カラム」大会
滋賀県産間伐材有効利用促進グループ



クリスマス・リースづくり
滋賀県緑化推進会



ペットボトル・キャップで
工作教室
ガールスカウト滋賀県連盟



近江の地酒各種販売
エスサーフ

ぎんらら
総合司会 GINLALA



「えふえむ草津」の人気番組「午後
は大銀蔵」から生まれた音楽ユニット。
ステージイベントを盛り上げてくれま
した。



スタッフの皆さん、準備から撤収までお疲れ様でした!

エネルギー体験ひろば

省エネと創エネ (電気を自ら作り出すこと)
について考えました。



常に人だかりが
できていた
「液体窒素で冷熱実験」
のコーナー
大阪ガス滋賀事業所



森のエネルギーを活用する
ペレットストーブの展示・販売
山本材木店



LED 照明の省エネ効果を体験!
大津市地球温暖化防止活動推進センター



お絵かきもできて大人気だった
ソーラーランプ工作教室
夏原工業



自転車は素敵な人力エネルギー!
サイクルトレーラー体験も実施
輪の国びわ湖推進協議会

※「エネルギー体験ひろば」は滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金により開催しました。

らんま先生の 「エコ体験マジック・ショー」

環境問題と科学実験、パフォーマンスを融合し日本で初めて「環境パフォーマンス」という新しい形を作りあげ、環境省から「環境パフォーマー」の認定を唯一受けられている「らんま先生」が登場! 楽しい実験とマジックに、子どもたちの目は釘付けでした。



県庁の川田先生から食品ロスについて教わりました。

三方よし小学校「子どもエコ座談会」

年間約621万トンもの食品ロスが!

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約621万トンにも上ります。これを日本人1人当たりで換算すると、毎日お茶碗約1杯分(約134g)のご飯の量を捨てていることになります。滋賀県循環社会推進課の川田幸寛さんをゲスト先生に迎えて「食品ロス」について学び、それをどうすれば減らせるか、担任のらら先生(GINLALA)と一緒に生徒役の子どもたちが一生懸命話し合いました。一番後ろの席にいますお調子者のぎんちゃん(GINLALA)が時々ふざけた意見を出して和ませてくれました。参加してくれたのは、県内の5年生、6年生の皆さんです。終了後、「友達の意見を聞いて、自分にできることが分かりました」「食品ロスを減らすよう考えていきたいと思います」「相手に伝わるように大きな声ではっきり言うことの大切さが分かりました」など、しっかりした前向きな感想をいただきました。



参加者の皆さん、事前に調べたことや考えてきたことを元気に発言してくれました。

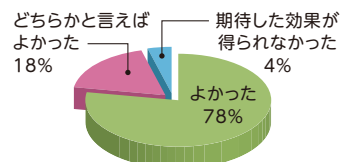
出展者の声

(開催後の出展者アンケートより)

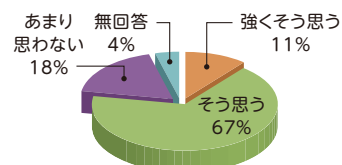
- ・他業種の方との交流や関係業界の方を紹介いただけで有意義でした。
- ・LED照明の家庭における交換の実情を知ることができました。
- ・来場者の要望等をダイレクトに得られるので今後の展開に生かれます。
- ・滋賀にお住まいの来場者に対し地域性の高い商品をPRできました。
- ・外部の方に関心を持っていただけて自分たちの活動に自信を持てるようになりました。
- ・出展により当社の商品を知っていただけました。出展者の方にも興味を持たれた方がおられましたので今後商談に繋がればと思います。
- ・滋賀のグリーンな魅力をより一層知れる機会となりとても良かったです。

出展者アンケートから、出展により商品や活動のPRができた、新たなつながりを得るなどの成果があったと感じておられる出展者が多かったことが分かりました。出展・来場された皆様のご意見を参考に、次回もさらに充実した内容を企画していきたいと考えています。

「三方よしエコフェア」にご出展いただき、いかがでしたか?



今回の出展で、他の出展者や来場者との新たなつながりをつくることができましたか?



●三方よしエコフェア2017協賛団体

びわ湖チャリティー 100km 歩行大会実行委員会、旭化成住工株式会社、株式会社エスサーフ、公益財団法人淡海環境保全財団、おうみ富士農業協同組合、大阪ガス株式会社、大津市地球温暖化防止活動推進センター、株式会社クリーンベンチャー21、株式会社沢田商店、株式会社滋賀銀行、公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、滋賀県生活協同組合連合会、たねやグループ、夏原工業株式会社、日本エコ照明株式会社、NPO 法人日本食品リサイクルネットワーク、日本電気硝子株式会社、びわ湖パナソニックファミリー会、株式会社山久、山室木材工業株式会社 他

ご協賛いただいた皆様、誠にありがとうございました。

Report 1

グリーン購入フォーラム2017 in 滋賀

「持続可能な生産と消費」を生物多様性の視点から考える

東京都市大学環境学部教授で幸せ経済社会研究所所長の枝廣 淳子氏による基調講演と、3企業1大学の事例報告およびパネルディスカッションを行い、SDGsの目標16「持続可能な生産と消費」を生物多様性の視点から考えました。登壇者の発言の一部をご紹介します。

- 開催日：2017年10月19日(木)
- 会場：長浜バイオ大学 ●参加者：125名
- 主催：びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会、滋賀GPN、KGPN、みえグリーン活動ネットワーク
- 後援：滋賀県、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター



枝廣 淳子 氏

枝廣 淳子 氏：重要なのは「地球一個分の経済」「地球一個分の暮らし」。持続可能性とは元本に手を付けず利子で生活するということ。それなのに我々は地球一年分の資源を大晦日を待たずに使い切っている。今日のテーマは「持続可能な生産と消費」。何をどれだけ何のために生産し、消費するか、それによりどれだけの「幸せをもたらしたか」が本当の効率である。本質的、長期的に考えて、企業であれば企業活動が「地球一個分」を目指しているかどうか重要だと考えられる。



辰巳 勝則 氏

味の素(株) グローバルコミュニケーション部 CSRグループ長 長谷川 泰伸 氏：「ほんだし」の主原料はカツオで、使い切ることや食品ロス削減にも努めている。日本近海のカツオ漁獲高が減っているのを大学や研究機関と共にカツオの標識放流共同調査を行い、漁業や食文化の継承に貢献している。環境出前授業や生活者における食品ロス削減についての取り組みも進めている。

(株)滋賀銀行 総合企画部 CSR室長 辰巳 勝則 氏：直接的に自然資源・生物資源を扱わない企業であっても、間接的に生物多様性の恩恵を受け、影響を与えている。金融機関は影響や危機を「お金の流れ」で評価・支援・解決できる。「三方よし」に「地球環境よし」を加えた「四方よし」を考えていきたい。



佐藤 邦夫 氏

(株)島津製作所 地球環境管理室 主査 岡野 雅通 氏：生物多様性については“見える化”をキーワードとして環境経営の1つの活動として取り組み、生物多様性を活用した新技術・素材の開発支援、外来種の侵入対策、企業緑地である本社工場内での「島津の森」の整備等を行っている。また生態系と伝統文化の保全、環境学習用の教材開発と出前講座にも取り組んでいる。

三重大学大学院 生物資源学研究所 教授 佐藤 邦夫 氏：全学部が1つのキャンパスに立地する利点を活かし、2007年より全学を挙げてISO14001の認証を取得し、「環境先進大学」という標語を掲げて環境活動を継続してきた。生物多様性に関する取り組みは、学生委員会が地域住民と協力して実施している。科学的知識を持つ環境人材が地域を活性化すると考え、『科学的地域環境人材』(SciLets) 育成事業も開始した。



長谷川 泰伸 氏



岡野 雅通 氏

Report 2

びわ湖環境ビジネスメッセ2017

「第20回記念公式エコバッグ」事業

～『減らす』目的のエコバッグを作成～

2017年10月に開催された「びわ湖環境ビジネスメッセ2017」(第20回記念開催)をより省資源・省エネルギーな大会とすることを目指して、「びわ湖環境ビジネスメッセ第20回記念公式エコバッグ事業」(事務局：滋賀GPN)を実施。賛同する出展者が共同で公式エコバッグを作成し、ブースへの来場者に配布する際、既にそのバッグをお持ちなら中の資料だけをお渡しすることで、配布するバッグの総量を減らし、連携して「配り過ぎない」大会を目指しました。



【参加団体】 アインズ(株)、アヤハグループ、(株)エコパレット滋賀、(公財)淡海環境保全財団、大阪ガス(株)、(株)木下カンセー、(株)三東工業社、(株)滋賀銀行、滋賀建機(株)、(公社)滋賀県産業支援プラザ、新江州(株)、西村建設(株)、日本テクノ(株)、(株)平和堂、前出産業(株)、(株)山久、(一社)滋賀グリーン購入ネットワーク

Report 3

会員連携で企画・運営する研究会活動

ゼロエミ研究会

「集まれ!エコっ子フェスティバル」出展

ゼロエミ研究会としては初めて、環境イベントに出展して普及啓発活動を行いました。出展したのは、8月27日(日)にビバシティ彦根で開催された「集まれ!エコっ子フェスティバル」です。パネル展示とクイズラリーを実施し、グリーン購入とごみの削減を来場者に呼びかけました。また、滋賀県立大学の学生さんたちによる劇「ゴミテスト!」の上演を支援しました。夏休みの日曜とあって会場はたくさんの親子連れで賑わい、効果的な啓発活動ができました。



エコ通勤研究会

「エコ通勤研究会セミナー」開催

11月27日(月)当研究会が主催する1回目のセミナーを開催し、34名にご参加いただきました。近畿運輸局交通政策部より「エコ通勤優良事業所認証」についてご紹介いただいた後、アインズ(株)、(株)滋賀銀行、近江鉄道(株)、(株)木の家専門店谷口工務店の各社から取り組み事例を報告していただきました。社員へのアンケートによる啓発、自転車通勤手当の拡充、経費削減目的の社用車乗り合わせ等、四社四様の取り組みは興味深く、後の意見交換会では参加者から熱心な質問や意見が出されました。



食のグリーン購入研究会

「草津市子ども環境会議」他出展

1月27日(土)に草津市役所で開催された「こども環境会議」に出展しました。食料自給率のグラフを示して、「野菜、牛肉、米、それぞれのグラフに当てはまるか?」子どもたちにクイズを出題し、「食べ残しをしない」など食品ロス削減も呼びかけました。研究会として8月に「エコっ子フェスティバル」、12月に「三方よしエコフェア」にも出展し、展示用のツールは子どもたちの反応を見ながら少しずつ改良してきました。今後もメンバーで意見を出し合い、楽しく学べるツールを増やしていきたいです。



Report 4

会員講師
派遣事業

滋賀GPNでは、普及啓発と会員の活躍の場の創出という2つの目的で「会員講師派遣事業」を行っています。2017年度も右記16名の会員講師を大学に派遣させていただきました。講師をお務めいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



平和堂
鶴鶴さんの
講義風景
(立命館大学BKC)

立命館大学「現代環境論」

(株)平和堂 総務部 CSR推進室 室長 鶴鶴 真知子 氏
おうみ富士農業協同組合 ファーマーズ・マーケット事業部 部長 川端 均 氏
(株)コクヨ工業滋賀 総務グループ 課長 太田 俊浩 氏
(株)ノエビア 滋賀工場内 ISO事務局 坂本 公美恵 氏

京都産業大学「マネジメント特講(環境人材とパートナーシップ)」

ダイキン工業(株) 滋賀製作所 空調生産本部企画部管理グループ 光永 健一 氏
たねやグループ (株)たねや 愛知川製造本部 係長 木田 幸司 氏
草津市 総合政策部 次長 藤田 雅也 氏
セトレマリーナびわ湖 ゼネラルマネージャー 波田 裕明 氏
滋賀ダイハツ販売(株) 代表取締役 後藤 敬一 氏

京都産業大学「ソーシャル・ガバナンス論」

滋賀県 会計管理局管理課 課長補佐 青木 純一 氏
コクヨマーケティング(株) 関西支社 京滋支店 副支店長 高橋 伸年 氏
油藤商事(株) 専務取締役 青山 裕史 氏

滋賀県立大学「環境経営論」

(株)ダイワフ 人事総務本部 環境品質グループ グループ長 横地 富重 氏
旭化成住工(株)本社・滋賀工場 RC管理部環境安全課 担当課長 松宮 秀典 氏
(株)山久 環境事業部 部長 森田 基仁 氏
山室木材工業(株) 営業統括部 福永 直子 氏

Relay
Talk

滋賀GPN会員でつなぐ

リレートーク>>>

油藤商事株式会社

専務取締役 青山 裕史



明治初期 初代青山藤八（当時15歳）が天びん棒を担いでカンテラ油（現在の灯油）等の行商を始めたのが当社の起源です。先代の地盤が現在の経営の基盤になっており、感謝の気



「滋賀県低炭素社会づくり賞」受賞時

持ちでいっぱいです。その後モータリゼーションの到来により、ガソリンやLPガスの販売に携わることになり、本年度創業119年を迎えます。

しかし、油は我々の生活を豊かにそして便利にしてくれましたが、地球温暖化の主原因であるCO2を増加させました。ガソリンや軽油の販売は、大気汚染や排気ガス問題などの環境への悪影響を与えてきました。だからこそ、環境に良いことを何かやりたい。小さな油屋だからこそできることをと、いつしか真剣に考えるようになりました。

当時、自分でできる取り組みというと空き缶の回収程度でした。そこで、ガソリンスタンド（以下、GS）でその空き缶を回収しようと思い、回収BOXを店頭で設置したところ、思いのほか利用者が増えました。そこで、空き缶だけでなく、牛乳パック、PETボトル、乾電池、廃食油等、資源分別ゴミの無料回収を始めました。消費者（利用者）は、回収日を気にせずとも資源ゴミを処理でき、確実にリサイクルできるという満足感を得られます。私たち（GS）側にも、地域にとって必要不可欠な「まちのステーション」になることができ、顧客の新たな来店動機にもつながる等のメリットがあります。さらに、この取り組みにより自治体の負担が減少する可能性もあり、正に「三方よし」です。GSを「まちのエコロジーステーション」に変える取り組みが、ここから始まりました。

そして、2002年から当社はバイオディーゼル燃料（以下、BDF）の精製・販売を始めました。滋賀県下で唯一、全国でも数少ない、BDFを給油できるGSです。店頭等で回収した各家庭から出される廃食油、あるいは事業所の厨房から出される廃食油を利用しています。以来、滋賀県内のさまざまな企業・自治会・個人様でのBDF利活用が広がり、当社の環境保全の取り組みが、お客様の取り組みへと広がっていると感じています。

現在、草津駅前再開発現場でのBDF使用の取り組みに関わっています。草津市民から回収した廃食油を精製したBDFを使って、まちづくりを進める取り組みで、地産地消エネルギーの推進であり、SDGs目標NO7「エネルギーをみんなで、そしてクリーンに」の取り組みでもあります。BDFはグローバルなエネルギーにはなりません。ただ、今は点でしかないローカルな動きが各地で起きれば、点は線になり面になる。全国各地にこうした三方よしの取り組みが広がることを願っています。

今回は、近畿環境保全株式会社さんをお願いします。



BDF精製について、学生に説明する青山氏

油藤商事株式会社

滋賀県犬上郡豊郷町高野瀬645

TEL：0749-35-2081

<http://www.aburatou.co.jp/>

お知らせ

第3回「買うエコ大賞」間もなく募集開始!

環境に配慮した滋賀県産の商品・サービスを表彰する「買うエコ大賞」は、ノミネート6商品から一般投票により大賞を決定するというユニークな表彰制度です。

2018年6月より、第3回大会の募集が始まりますのでお知らせいたします。グリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減に関する優れた取り組みを行った事業者、民間団体を表彰する「環境活動表彰」へのご応募もお待ちしております。

※詳細はホームページをご覧ください。 <http://kaueco.net/>



新規会員から ひとこと

2017年8月1日から2018年2月20日までの入会者
(団体名の50音順)



株式会社アアルズ

代表取締役 辻 利樹

滋賀県の木を用いた木製品を企画しています。代表的な企画がナラ枯れ材を活用した滋賀フェアプロジェクトです。エシカル消費を实践するため里山ツアーを企画しています。



株式会社おうみ教育社

代表取締役 福井 清人

「がんばれ!滋賀のこどもたち」をキャッチフレーズに、滋賀のローカル塾として33年目を迎えました。生徒に配るプリント類は再生紙を使用して環境保全に取り組んでいます。



有限会社ガイアコミュニティ

取締役 風 かおる

「SDGs」「パリ協定」と、世界の動きに日本は立ち遅れています。そこで滋賀から世界へ、企業が手を結び、世界に注目され地球に貢献できるプロジェクトの発信に貢献したいです。



旭化成株式会社 守山製造所

環境安全部 部長 春日 雅博

「私たち旭化成グループは、世界の人のびとの“いのち”と“くらし”に貢献します」というグループ理念のもと「健康で快適な生活」と「環境との共生」の実現を通して社会に新たな価値を提供していきます。



コミュニティダイニング 俣屋

平井 京子

ワンディシェフの店として始め、毎週火・木の手打ち蕎麦の日を中心に近江茶や健康がテーマのランチやイベントを楽しみながら運営しています。エコイベントもやってみたいです。



有限会社イーグル電子製作所

代表取締役 南 大介

主にFA業界で制御盤製作等とソフト開発を主軸に事業をしています。滋賀GPN入会をきっかけに社員のグリーン購入に対する意識が向上するよう努めていきたいと思っています。



せせらぎの郷

代表 堀 彰男

春になるとフナなどが琵琶湖から遡上し田んぼで産卵します。魚が育つ環境の田んぼで作られた「魚のゆりかご水田米」と「月夜のゆりかご」を、食べて飲んで、応援してください。



インフォフィール株式会社

代表取締役 木村 達人

主な事業内容はWEBシステム開発と業務システム開発です。これからも業務のシステム化により、多くの企業のペーパーレス化に貢献していきたいと思っています。



Bistro chicci

代表 松島 智洋

以前から食材の地産地消は心がけていました。昨年12月の「三方よしエコフェア」出展をきっかけに、エコについてより深く考えるようになりました。今後ともよろしくお願い致します。



株式会社エース産業機器

代表取締役 荒木 順平

この度入会させて頂きましたエース産業機器の荒木でございます。産業用機械・工具の販売を通して環境負荷低減商品をご提案したいと思っています。よろしくお願い申し上げます。



ファブリカ村

代表 北川 陽子

地場産業の継承に関わりつつ、作り手と使い手をつなぐ場を作っています。安易なものが市場に溢れる中、丁寧に作られた物を愛着持って長く使い続けることを伝えています。

現会員数：469 団体 [企業 387、行政 21、団体 61] (2018年2月20日現在)



会員発工コ商品情報

次号掲載
「エコ商品情報」
募集中!

～滋賀県の森を元気にする椅子～ 滋賀チェア

株式会社 アアルズ

滋賀の木で北欧家具に負けない本格的な椅子を作りたい! そんな思いから滋賀チェアは生まれました。滋賀チェアはコナラで作られています。コナラは硬くて粘りと強度があり、椅子に適した素材です。強度の制約が少ないコナラだから実現できたデザインです。

滋賀県のコナラの多くはナラ枯れという病気にかかっており、伐らないと病気が広がります。伐った木を活用した椅子を使うことが、森を元気にすることを伝えたくて、定期的に滋賀チェアの素材を育んだ森を知るエコツーリズムを開催しています。

虫に喰われたり、色に変色した木も個性として活かし、存在感を高めています。昨年オープンした東京・日本橋の「ここ滋賀」にも導入されました。

●価格：79,000円(税抜)



〈お問合せ〉株式会社 アアルズ



～滋賀チェアプロジェクト事務局～
滋賀県多賀町多賀 1227-69
TEL：0749-20-1504 E-mail：info@aalzz.com
m.facebook.com/shigachairproject/

滋賀の お魚ヨシノート

株式会社 コクヨ工業滋賀

株式会社コクヨ工業滋賀は、ヨシの活用が水質浄化や生態系保全など環境維持につながることから、琵琶湖・淀川水系のヨシを使用した紙製品「ReEDEN (リエデン)」シリーズを2007年から発売しています。

「滋賀のお魚ヨシノート」は、中紙に琵琶湖・淀川水系のヨシ紙を使用しており、罫線は小学生を対象とした5mm方眼罫(10mm実線入り)を採用しています。表紙には、滋賀県立琵琶湖博物館に監修いただき、博物館の人気のポスターを基に、琵琶湖と滋賀県内の川に生息する77種の魚をデザインし、表紙裏には魚の部位の名前や、いろいろな尾びれの形など滋賀の魚について学べるまめ知識と、琵琶湖のヨシの働きなどを掲載し、子供たちの琵琶湖の関心や、環境意識の向上へつなげます。



〈お問合せ〉株式会社 コクヨ工業滋賀



滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野 312
TEL：0749-37-3611 FAX：0749-37-3686
E-mail：sales_kps@kokuyo.com
facebook.com/kps.ReEDEN/

編集後記

2017年12月9日、滋賀GPN主催の「三方よしエコフェア」がピアザ浜海で開催されました。その中で小学生の座談会の題材としてガールスカウト43団が作成した「食品ロス」の動画を取り上げて頂きました。

私たちガールスカウトは、少女や若い女性が責任ある市民となるように日々の活動をしています。その中で地域や自分たちの身の回りで変えていきたい課題を見つけ、自分たちで企画し地域の方々に広めて意識してもらい、よりよい町・環境になるようにしていくという活動をしています。この活動は「Be The Changeーわたしが変わる。未来が変わる。」というコンセプトで、全国でまた全世界で取り組んでいます。子どもたちが企画して実施することなので小さな力ですが、継続することによって大きな力へと変わっていくことを願っています。

滋賀GPNの活動も同じようなところがあるように感じます。一人でも多くの方に滋賀GPNの取り組みを知って頂き、広まっていき、活動に参加すること、取り組むことが普通になることを願っています。

また、その目標に向かって進むことに、私たちガールスカウトも微力ながらお手伝いができることに感謝しております。

(幹事/(-社)ガールスカウト滋賀県連盟 菊池 孝子)

昨年の4月より前任者から引き継ぎ、滋賀GPNの幹事として参加し、もうすぐ1年が経ちます。最初、滋賀GPNのことを環境に配慮した商品購入を推進する団体であるとしか認識しておりませんでしたが、食品ロスやエコ通勤など多方面に活動を展開しており、研究会やフォーラムに一員として参加することで、たくさんの方と情報交換を行う機会となり、大きな刺激を得ることができました。

特に、エコ通勤研究会は、環境に配慮した通勤を行う取組みで、今年度、凍結していた活動を再開しました。まず、エコ通勤とは何かを啓発するため、一般参加者を対象としたセミナーを開催しました。事業所の取組み事例を用い、わかりやすく伝えることができたと思います。次年度のさらなる普及促進のため、現在、当研究会で議論を展開しているところです。

守山市でも、毎月第2金曜日に実施していた「ノーマイカーデー」を「エコ通勤デー」と名称を変更し、当日は特設の駐輪場を設けて推進に努め、自転車通勤を推進することで「我慢するエコ」から、「楽しむエコ」へ見直したところです。

今後も、身近にできることに気付いてもらい、実践する人が増えるような啓発を心がけていきます。

(幹事/守山市 総務課 西川 哲平)



編集・発行/一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

Eメール:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:http://www.shigagpn.gr.jp/

